

管路復旧班 計画・情報担当					業 務 項 目 (太字：主要業務) (細字：主要業務以外)	業 務 内 容	留 意 事 項 等 (太字は重要な資料を示す。)
実施主体			主な実施時期				
当 事業体	共同	応援 事業体	初期	復旧期			
					15) 管路復旧班会議 (班会議)	管路復旧班会議において、必要に応じて担当の活動状況を報告するとともに、活動方針を確認する。	
					71) 資料等の準備 22) 通信機器の確保 23) 緊急輸送車両確認証明書の確保	管路復旧班で使用する資料・様式等を準備し、資材調達担当、管路復旧チームに各々必要なものを配布する。 総務班動員・調達担当に管路復旧班に必要な通信機器、緊急輸送車両確認証明書の数量を報告し、受け取る。 受け取った通信機器、緊急輸送車両確認証明書を管路復旧チームに配布する。	
					72) 被害状況・断水状況等の調査	(a) (b)の各担当から、以下の情報を収集する。 (a)浄水施設復旧班計画・情報担当 ・ 浄水場等の施設の被害状況 (b)管路復旧班管路復旧チーム(ブロック責任者) 配水管の被害状況、断水状況*1*2 (b)の調査結果を整理し、総務班調査・広報担当、応急給水班計画・情報担当に報告する。	*1管路の被害は、地図や配管図に色分けして記入すると解りやすい。 *2震災当初は埋設管路の被害は、十分把握できないため、事前の被害想定結果を参考にして、被害規模を想定する。
					73) 下水道等の他のライフラインの被害状況・復旧状況の確認	他のライフラインの担当者から、被害状況・復旧状況等の情報を収集し、管路復旧チームに伝達する。	・「表2-3 関係機関との情報連絡体制」を利用。

管路復旧班 計画・情報担当			業務項目 (太字：主要業務) (細字：主要業務以外)		業務内容	留意事項等 (太字は重要な資料を示す。)
実施主体			主な実施時期			
当 事業体	共同	応援 事業体	初期	復旧期		
				24)地震災害関係情報の確認	<p>総務班調査・広報担当より、地震災害関係情報(道路の被害・渋滞状況、復旧状況等を含む)を収集し、管路復旧チームに伝達する。</p>	
				81) 応急復旧計画の策定等(仮設給水栓設置を含む)	<p>浄水施設や管路の被害・断水状況、復旧状況および道路被害の状況等を整理し、以下の内容で管路復旧班の応急復旧計画を策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹管路の補強整備状況などの把握 ・ 供給可能な送・配水系統と給水区域の想定 ・ 供給不能な送・配水系統と被害箇所の想定 ・ 復旧期間の設定 ・ 応急復旧の順位と方法の選択*1*2*3 ・ 応急復旧資機材の確保*4 と分散配置 ・ 復旧工程の検討 ・ 復旧工事班の編成(人員、協力会社、車両等)*5*6 ・ 仮設給水栓設置計画(設置地区、設置間隔等) (応急給水班の計画・情報担当と調整) <p>の応急復旧計画を総務班調査・広報担当、応急給水班計画・情報担当に報告する。</p> <p>の応急復旧計画を管路復旧チームに指示する。</p> <p>管路復旧班の活動に関して、必要に応じて、管路復旧チームを指揮・命令する。</p>	<p>管路の被害状況は、想定地震と発生地震の震度等を比較して推定する。</p> <p>*1上流側の管路から順次、復旧するように計画する。</p> <p>*2以下の復旧方法を示す。 (1)断水して復旧するか、通水しながら復旧するか (2)被害が多い区間は、漏水箇所の修繕か、仮設配管等の布設か (3)給水管の修繕範囲 (4)各戸の仮設給水栓設置の有無等</p> <p>*3市民に不公平感が生じないように、可能であれば連続した地域を順次復旧していく。</p> <p>*4「資料C1 復旧支援資機材一覧」を使用。</p> <p>*5応援者・職員に過度な負担を与えないようローテーション等を行い、健康管理に留意する。</p> <p>*6復旧工事の進捗により、地区別に仮設給水栓の設置状況等に偏りが生じた場合、必要に応じて管路復旧チームの配置替えを行う。</p>

管路復旧班 計画・情報担当					業務項目 (太字：主要業務) (細字：主要業務以外)	業務内容	留意事項等 (太字は重要な資料を示す。)
実施主体			主な実施時期				
当 事業体	共同	応援 事業体	初期	復旧期			
					83) 管路復旧業者等への 応援要請及び配備	<p>応急復旧計画に基づき、応援人員等を整理し、市管工事業協同組合等に対し応援要請する。*1*2</p> <p>市管工事業協同組合等の管路復旧業者の受け付けを行い、管路復旧活動方針等を説明し、管路復旧チーム(ブロック責任者)に引き継ぎ、配備する。*3</p>	<p>*1「表2-3 関係機関との情報連絡体制」を利用。</p> <p>*2従事可能な水道OBに応急復旧の補助を依頼することも有効。</p> <p>*3管路復旧業者に依頼業務、遵守事項、連絡方法、作業方法などを説明し、準備した資料を渡す。</p>
					32) 応援事業体に対する 応急復旧の応援要請 及び配備	<p>応急復旧計画に基づき、応援人員等を整理し、総務班動員・調達担当に応援要請を依頼する。</p> <p>受け入れた応援事業体に対し、管路復旧活動方針等を説明し、管路復旧チーム(ブロック責任者)に引き継ぎ、配備する。</p>	<p>・ 応援事業体に依頼業務、遵守事項、連絡方法、作業方法などを説明し、準備した資料を渡す。</p>
					85) 資材基地、残土置場の 確保	<p>応急復旧計画に基づき、必要な資材基地、残土置場を確認する。</p> <p>資材基地、残土置場の確保のため、土地の借用が必要な場合、所有者にそれを要請する。</p> <p>確保できた資材基地、残土置場を管路復旧チーム、資材調達担当に連絡する。</p>	
					84) 応急復旧資材の確保 (管材)	<p>応急復旧計画に基づき、必要な資材の数量を推計・決定し、資材調達担当に調達を指示する。</p> <p>管路復旧チームから、必要な資材について連絡を受けた場合、資材調達担当に調達を指示する。</p>	

管路復旧班 計画・情報担当			業務項目 (太字：主要業務) (細字：主要業務以外)		業務内容	留意事項等 (太字は重要な資料を示す。)
実施主体			主な実施時期			
当 事業体	共同	応援 事業体	初期	復旧期		
					92-1) 応急復旧状況調査 (a) (b)の各担当から、以下の情報を収集する。*1 (a)浄水施設復旧班計画・情報担当 ・ 浄水場等の施設の復旧状況 ・ 浄水場等の施設の応急復旧計画 (b)管路復旧班管路復旧チーム(ブロック責任者) ・ 配水管の復旧状況・断水状況*2 ・ 仮設給水栓の設置状況 (b)の調査結果を整理し*3、総務班調査・広報担当、応急給水班計画・情報担当に報告する。	*1「4.2.2 情報収集・広報連絡系統図」を参照。 *2管路の復旧状況は、地図や配管図に色分けして記入すると解りやすく、復旧の見通しも立てやすい。 *3様式C2～C5を用いて作成。
				42) 給油所及び車両整備所の確認 43) 物資等の確保 44) 物品購入	総務班動員・調達担当から、ガソリン等の確保が可能な給油所及び車両修理が可能な車両整備所を確認し、管路復旧チームに伝達する。 総務班動員・調達担当に管路復旧班に必要な物資等(食料、医薬品、救護物資等)の数量を報告し、受け取る。 受け取った物資等を、管路復旧チームに配布する。 物品を購入する場合、あるいは管路復旧チームから物品購入の依頼を受けた場合、総務班動員・調達担当に購入依頼する。 納入された物品を総務班動員・調達担当から受け取る。管路復旧チームから依頼された物品は、当該管路復旧チームに引き渡す。	
				45) 応援者・職員に対する用務	用務がある場合、あるいは管路復旧チームから用務を依頼された場合、総務班動員・調達担当に依頼し、処理する。	

管路復旧班 計画・情報担当			実施主体		主な実施時期		業務項目 (太字：主要業務) (細字：主要業務以外)	業務内容	留意事項等 (太字は重要な資料を示す。)
当 事業体	共同	応援 事業体	初期	復旧期					
					28) 苦情処理 (1) 苦情の収集と処理	<p>計画・情報担当あるいは管路復旧チームを通して、市民から苦情を受け付ける。</p> <p>の苦情を整理し、計画・情報担当で処理できるものは処理する。</p> <p>計画・情報担当で処理できず、他班で処理できるものは、以下の担当に処理を依頼する。</p> <p>総務班 調査・広報担当 応急給水班 計画・情報担当 浄水施設復旧班 計画・情報担当</p> <p>他班で処理できず、管路復旧班で処理できる苦情を の担当から受け付け、処理する。</p>			
					(2) 苦情処理の結果の収集	<p>管路復旧班における苦情とその処理結果を総務班調査・広報担当に報告する。</p>			

管路復旧班 資材調達担当					業務項目 (太字：主要業務) (細字：主要業務以外)	業務内容	留意事項等 (太字は重要な資料を示す。)
実施主体			主な実施時期				
当 事業体	共同	応援 事業体	初期	復旧期			
					15) 管路復旧班会議 (班会議)	管路復旧班会議において、必要に応じて担当の活動状況を報告するとともに、活動方針を確認する。	
					71) 資料等の準備 22) 通信機器の確保 23) 緊急輸送車両確認証明書 の確保	計画・情報担当より、必要な資料・様式を入手する。 計画・情報担当より、通信機器、緊急輸送車両確認証明書を受け取る。	
					24) 地震災害関係情報の 確認	計画・情報担当より、地震災害関係情報(道路の被害・渋滞状況、復旧状況等を含む)を確認する。	
					85) 資材基地の確認	計画・情報担当より、資材基地を確認する。	
					84) 応急復旧資材の確保 (管材)	計画・情報担当より、確保する資材の数量を確認する。 資材の在庫状況を適宜確認する。 に基づき、メーカーに管材を発注し、受け取る。 管路復旧チームに必要な管材を引き渡す。 総務班の動員・調達担当に管材の伝票を提出する。	
					42) 給油所及び車両整備 所の確認 43) 物資等の確保 44) 物品購入	計画・情報担当より、ガソリン等の確保が可能な給油所及び車両修理が可能な車両整備所を確認する。 車両使用者は必要に応じて、指定のあった給油所、車両整備所に行き、ガソリンの提供および車両整備を受ける。 計画・情報担当より、必要な物資等(食料、医薬品、救援物資等)を受け取る。 物品が必要な場合、計画・情報担当に依頼する。 納入された物品を計画・情報担当より受け取る。	
					45) 応援者・職員に対す る用務	用務がある場合、計画・情報担当に依頼する。	
					28) 苦情処理	市民から直接苦情を受けた場合、計画・情報担当に報告する。	

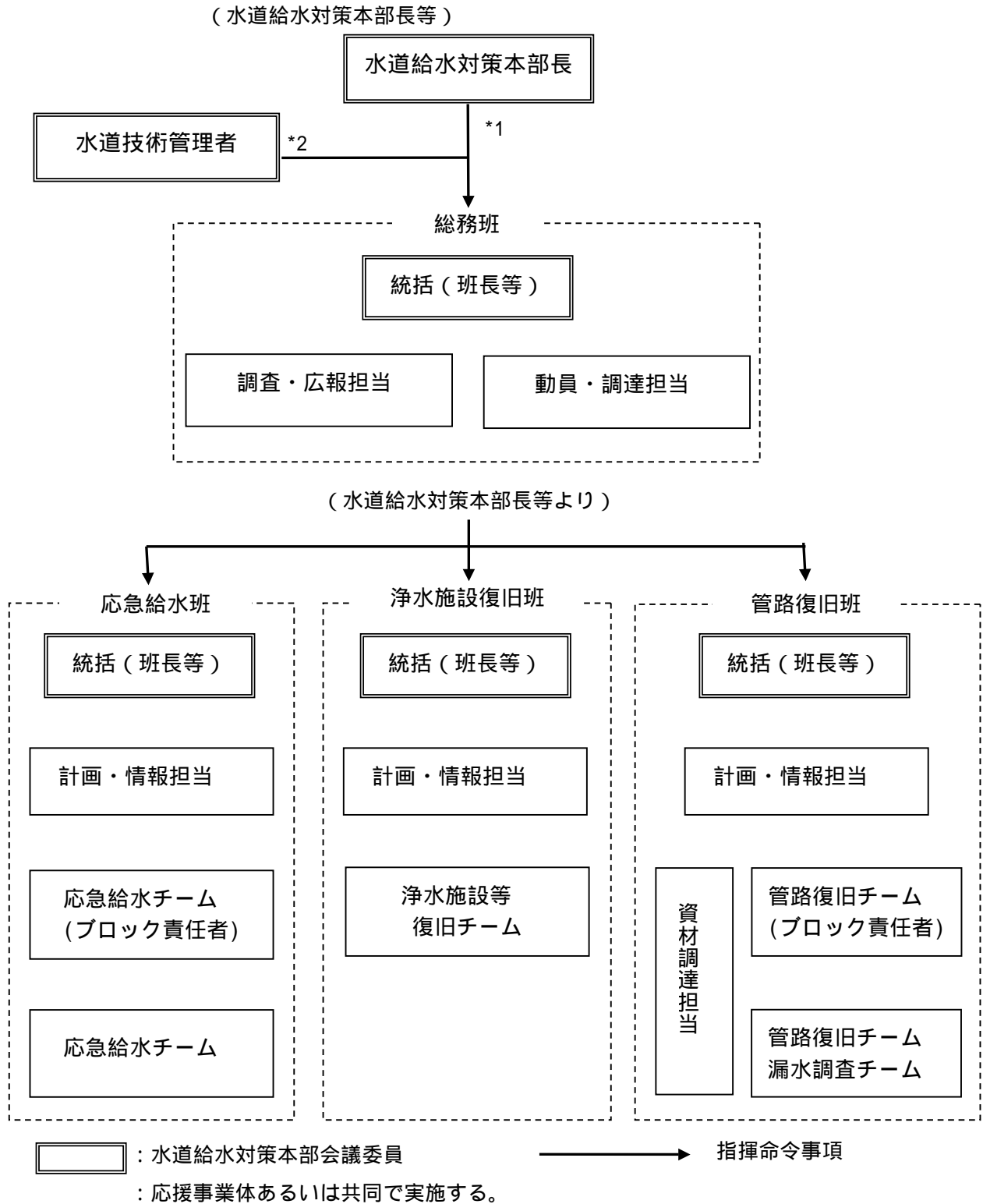
管路復旧班 管路復旧チーム等		実施主体			主な実施時期		業務項目 (太字：主要業務) (細字：主要業務以外)	業務内容	留意事項等 (太字は重要な資料を示す。)
当事業体	共同	応援事業体	初期	復旧期					
						15) 管路復旧班会議 (班会議)	管路復旧班会議において、必要に応じてチームの活動状況を報告するとともに、活動方針を確認する。		
						71) 資料等の準備 22) 通信機器の確保 23) 緊急輸送車両確認証明書の確保	計画・情報担当から資料・様式を入手する。 計画・情報担当から通信機器、緊急輸送車両確認証明書を受け取る。		
						72) 被害・断水状況調査、 緊急措置	定められた調査方法・順序に基づき、以下に示す被害状況(漏水、道路陥没等の有無・程度)・断水状況調査を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 重要路線および応急給水施設、避難所等に至る路線の被害 危険箇所、二次災害のおそれがある場所の被害 緊急輸送道路、鉄道、主要道路の横断箇所等の被害 通報を受けた未確認の被害 道路、河川施設等の被害と管路被害への影響 断水区域ならびに給水区域の水圧の確認 緊急措置として、以下に示す断水作業、配水調整を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 道路陥没、崖崩れや二次災害およびそれらのおそれがある場合、漏水が送配水に影響を及ぼす場合、断水作業を行う。 消火活動を行う場所に対して、配水調整(バルブ操作)を行う。 浄水場から配水池等への送水、主要管路の機能確保を優先して、配水調整を実施する。 被害・断水状況調査および緊急措置の結果を整理し、ブロック責任者が収集して、計画・情報担当に報告する。		
						73) 下水道等の他のライフラインの被害状況・復旧状況の確認	計画・情報担当から下水道等の他のライフラインの被害状況・復旧状況等の情報を確認する。		

管路復旧班 管路復旧チーム等					業務項目 (太字：主要業務) (細字：主要業務以外)	業務内容	留意事項等 (太字は重要な資料を示す。)
実施主体			主な実施時期				
当 事業体	共同	応援 事業体	初期	復旧期			
					24) 地震災害関係情報の確認	計画・情報担当から地震災害関係情報(道路の被害・渋滞状況、復旧状況等を含む)を確認する。	
					81) 応急復旧計画の確認、 指揮・命令事項の確認	計画・情報担当から管路復旧計画を確認する。 計画・情報担当から指揮・命令事項を確認する。	
					83) 管路復旧業者の配備 32) 管路復旧の応援団体の 配備	ブロック責任者は、計画・情報担当から市管工事業協同組合等の管路復旧業者、管路復旧の応援団体を受け入れ、担当を定め管路復旧チームに配備する。	
					85) 資材基地、残土置場の 確認	計画・情報担当から資材基地、残土置場を確認する。	
					84) 応急復旧資材の確保 (管材)	復旧に必要な資材を資材調達担当より受け取る。 復旧に必要な資材が不足する場合、計画・情報担当に依頼する。	
					91) 漏水調査の実施	ブロック責任者は、管路復旧チームと協議し、漏水調査を行う管路を設定し、漏水調査チームに指示する。 漏水調査チームは、指示された管路を対象に漏水調査を行う。	
					92) 管路復旧工事等の実 施 93) 水質検査の実施	応急復旧計画に基づき、管路の復旧工事を行う。*1 復旧した配水管等を対象として水質検査を行う。*2 仮設給水栓設置計画に基づき、仮設給水栓を設置する。	*1不在宅の止水栓を止めた場合には、その旨張り紙などをしておく。 *2水質検査は必要に応じて、浄水施設等復旧チームの協力を得て行う。

管路復旧班		管路復旧チーム等			業務項目 (太字：主要業務) (細字：主要業務以外)	業務内容	留意事項等 (太字は重要な資料を示す。)
実施主体			主な実施時期				
当事業体	共同	応援事業体	初期	復旧期			
					92-1) 応急復旧状況調査	<p>管路復旧チームは管路の応急復旧状況、仮設給水栓の設置状況等を整理し、その結果をまとめる。*1</p> <p>の調査結果をブロック責任者が収集し、計画・情報担当に報告する。</p>	*1災害査定用資料として利用できるように、様式C2～C5を用いて作成。
					42) 給油所及び車両整備所の確認 43) 物資等の確保 44) 物品購入	<p>計画・情報担当からガソリン等の確保が可能な給油所及び車両修理が可能な車両整備所を確認する。</p> <p>車両使用者は必要に応じて、指定のあった給油所、車両整備所に行き、ガソリンの提供および車両整備を受ける。</p> <p>計画・情報担当から必要な物資等(食料、医薬品、救援物資等)を受け取る。</p> <p>物品を購入する場合、計画・情報担当に依頼する。</p> <p>納入された物品を計画・情報担当から受け取る。</p>	
					45) 応援者・職員に対する用務	用務がある場合、計画・情報担当に依頼する。	
					28) 苦情処理	市民から直接苦情を受けた場合、計画・情報担当に報告する。	

4.2 情報連絡系統図

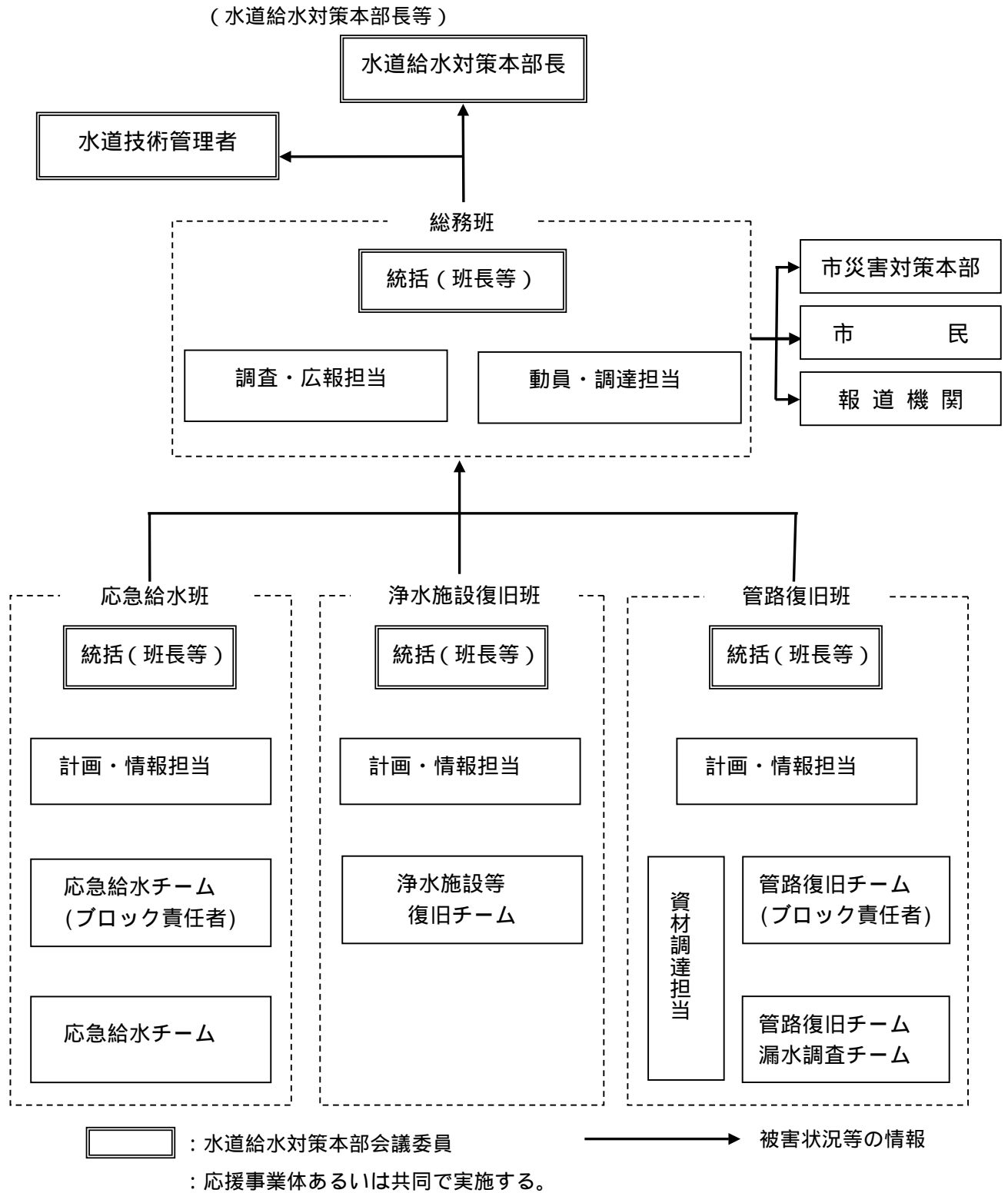
4.2.1 指揮命令系統図



*1 応急対策の基本的な重要事項

*2 水道の技術上の管理に関する事項(水質検査、衛生上の措置、給水の緊急停止等)

4.2.2 情報収集・広報連絡系統図



5 . 資料・様式

資料・様式 目次

(共 通)

様式 A 1 資機材の備蓄及び整備状況調査表	-78
------------------------	-----

(応急給水用)

様式 B 1 応急給水応援体制報告書	-79
様式 B 2 応急給水作業指示・報告書	-80

(管路復旧用)

資料 C 1 復旧支援資機材一覧	-81
様式 C 2 被災状況・修繕報告書	-82
様式 C 3 水道管折損事故等復旧内容調書	-83
様式 C 4 オフセット調書	-84
様式 C 5 黒板（撮影指示板）作成にあたって	-85

様式 A 1 資機材の備蓄及び整備状況調査表

(平成 年度現在)

水道局

項目	内容	保有数量	初期応援可能数	備考
車 両	給水車 (m ³)			
	給水車 (m ³)			
	ト ラ ッ ク			
	ク レ ー ン 車			
	そ の 他			
給 水 容 器	仮設水槽 (m ³)			
	仮設水槽 (m ³)			
	給水タンク (L)			
	給水タンク (L)			
	給水タンク (L)			
	ポリ容器 (L)			
	ポリ容器 (L)			
	そ の 他			
機 材	応 急 給 水 装 置			
	ろ 過 機			
	発 電 機			
	投 光 器			
	鉄 管 切 断 機			
	電 動 ネ ジ 切 機			
	そ の 他			
管 類	直管 (mm)			
	直管 (mm)			
	直管 (mm)			
	継 手 類			
缶 詰	水 の 缶 詰			
	食 料			
そ の 他				

注) その他の欄には、特殊管、緊急用資機材等の状況を記入してください。
また、管類については継手種類についても明記してください。

様式 B 1 応急給水応援体制報告書

年 月 日

事業体名	
------	--

人員	可能給水方法	車両台数 (タンク容量)	作業可能時間
人	タンク給水	(台 m ³)	~
人	タンク補給	(台 m ³)	~
人	容器配付	台	~
人	給水補助	台	~
合 計		合 計	
人		台	

様式 B 2 応急給水作業指示・報告書

年 月 日

事業体名	人員	車両	給水方法	作業時間
				~
注 意 点				

		A	B	C
給水場所				
作業時間 と 給水量	1	~ m ³	~ m ³	~ m ³
	2	~ m ³	~ m ³	~ m ³
	3	~ m ³	~ m ³	~ m ³
	4	~ m ³	~ m ³	~ m ³
	5	~ m ³	~ m ³	~ m ³
作業従事者		給水方法	タンク給水 容器配付 タンク補給 給水補助	
作業時間	~			
給水人数	人	給水量合計	m ³	
補給場所と 補給回数	浄水場・配水場 貯留槽・給水船 _____回			
特記事項				

資料C 1 復旧支援資機材一覧

分類	資機材名称	分類	資機材名称
接合工具	ビニル管接合工具一式 ポリエチレン管接合工具一式 鉛管接合工具一式 継手接合器材 (トルクレンチ、スパナ、金尺他)	配水調整用資材	制水弁用開栓器 蓋カギ(バルブキー) スタンドパイプ 水質検査器 残塩測定器
切管工具	リードカッター エンジンカッター ローリングカッター 電気ドリル 穿孔機 コードリール	漏水調査器具	相関式漏水発見装置 電子式漏水発見器 埋設管探知機 音聴棒 距離計 水圧ゲージ
掘削埋戻し 工具	黒板(撮影表示板) 小型掘削機 スコップ ハンドブレーカー 転圧機 保安設備 投光器 つるはし コンプレッサ 土留め材料 土のう袋 コンクリートカッター	その他	携帯電話 携帯無線 懐中電灯 トランシーバー カメラ フィルム ハンドマイク ロープ ハンマー 工具類(一式) 酸欠防止用具
		車両等	運搬車(クレーン付) 作業車 工作車(ダブルキャブ他) 緊急車 ライトバン
排水工具	水中ポンプ 発電機 布ホース		
保安設備	工事看板 バリケード カラーコーン コーンバー ハロゲンランプ 簡易回転等 交通誘導灯		

様式 C 2 被災状況・修繕報告書

(事業体名)

整理番号	
修繕日	月 日

場 所	市(区) 町											
埋設状況	深度	m	土質	砂質土	砂	粘性土	その他	地下水	有り	無し		
埋設管	口径		材質	鉛管	FC	FCD	SP	その他	布設年度	年度		
	継手形式	A形		K形	T形	S,S形	NS形	その他	属具	消火栓	空気弁	その他
被災状況	道路	陥没 隆起 割裂 その他()										
	管体	タテ割れ		ヨコ割れ	折れ	破断	その他()					
	継手	抜け	ズレ	割れ	ゴムリング(切断、ズレ)			その他()				
位置図(別紙でも構わない)						掘削工・断面図 (舗装厚_____cm、路盤厚_____cm)						
配管図												
使用材料	名称		数量	名称		数量	名称		数量			

様式 C 3 水道管破損事故等復旧内容調書

月 日	平成 年 月 日 ()	場 所	市 (区) 町
事 故 内 容		請 負 人 名	
監 督 (指 示) 員		現地確認者	請負人
現地到着時間	時 分		水道局
接合完了時間	時 分	総 作 業 時 間	時 分

名 称	形 質	単 位	数 量 ・ 確 認	略 図 (平 面 図)
掘 削 機	m ³ 級	H		
	m ³ 級	H		
ト ラ ッ ク	11t	H		
	4t	H		
	2t	H		
水 替 ポ ン プ		式		
作 業 員		人		
		H		
交 通 整 理 員		人		
4t ユ ニ ッ ク		H		
ジ ャ ッ プ ブ レ ー カ ー		H		
世 話 役		人		
運 転 工		人		
特記事項				
掘削深さ H = m				

様式 C 4 オフセット調書

平成 年 月 日

修理 No.	修理箇所	市(区) 町

様式 C 5 黒板（撮影表示板）作成にあたって

<p>工事名</p>	<p>地震災害復旧工事</p>	<p>……工事名として左記のように記入。</p>
<p>工種</p>		<p>……伝票番号、申込者を記入。</p>
<p>位置</p>	<p>市（区） 町 番</p>	<p>……住所（施工場所）を記入。</p>
<p>撮影月日</p>		<p>……記入したほうが良い。</p>
<p>略 図</p>	<p>_____<u>施工者</u></p>	<p>……施工者を記入。 修繕に使用した材料・口径・延長を図化する。 (図は大きい文字で記入すること)</p>